

# ハクサンボウフウ

*Peucedanum multivittatum* Maxim.  
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は4箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

## 分布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では勝山市、大野市で確認されている。

## 種の特徴

高山帯の草地に生える多年草。茎は直立し、高さ30～90cm。葉は3出、単羽状、または1～2回3出複葉で、側小葉は無柄、小葉は広披針形～広卵形で、あらい鋸歯があり、不規則に細裂する。果実は長楕円形で、油管は各背溝下。

## 生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

# イワセントウソウ

*Pternopetalum tanakae* (Franch. et Sav.) Hand.-Mazz.  
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は2箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

## 分布

本州～九州に分布。県内では大野市で確認されている。

## 種の特徴

深山の日陰の湿った場所を好む小さい多年草。細長い地下茎がある。茎は単一、高さ10～30cm。枝を出さない。根出葉は長い柄があり、2～3回3出羽状複葉、茎葉は1個で、ふつう単羽状複葉。5～6月頃、1個の複散形花序を頂部に付ける。

## 生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# シラネニンジン

*Tilingia ajanensis* Regel  
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は1箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

## 分布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では大野市で確認されている。

## 種の特徴

高山の岩石地に生える多年草。茎は直立し、上部は分枝し、高さは10～30cmになる。葉は3出とならず2～3回羽状複葉をなし、小葉の裂片は卵形～線形。分果の油管は各背溝下に1個、合生面に2個。

## 生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	